

公安委員会定例会議開催状況

- 1 開催日 令和3年10月6日（水）
- 2 開催場所 警察本部大会議室 公安委員会室
- 3 出席者
 - (1) 公安委員会
町田委員長 高橋委員 五十嵐委員
 - (2) 警察本部
本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長
情報通信部長 首席監察官 警察学校長
警務統括官 子供・女性安全対策課長 運転管理課聴聞官 公安委員会室長
- 4 議事の概要
 - (1) 報告事項
 - ア 令和3年度警察官B等採用試験第1次試験実施結果について
警察本部から、令和3年9月19日に実施した令和3年度警察官B等採用試験第1次試験の結果について、報告があった。
委員から、「引き続き、女性警察官の採用拡大に向けた取組の推進をお願いしたい。」と意見があった。
 - イ 第45回「県民の警察官」表彰受章者の決定及び表彰式の実施について
警察本部から、「令和3年9月29日に開催された第45回『県民の警察官』表彰受章者選考委員会により3名の受章者が決定したことから、同年10月20日、群馬会館において表彰式を実施する。」と報告があった。
委員から、「受章された皆さん、おめでとうございます。家族の支えがあったからこそその受章だと思うので、奥様が出席されることは素晴らしいことだと思う。」、「受章者は、多数の中から選出された華々しい経歴の方々であり、いずれも素晴らしい警察官だと思う。」と意見があった。
 - ウ 刑法犯の認知・検挙状況について（令和3年9月末）
警察本部から、令和3年9月末における刑法犯の認知・検挙状況について、報告があった。
委員から、「特殊詐欺の認知件数が増加しているので、引き続き、被害防止対策を推進していただきたい。」、「昔と比べて地域のつながりも弱くなっており、警察への期待がますます高まっていると思うので、全国の取組事例も参考としな

がら、工夫した取組を推進していただきたい。」と意見があった。

また、委員から、「コロナ禍の中、刑法犯認知件数の減少傾向が続いているのは、現場の皆さんが努力している成果だと思うので、引き続き、よろしく願いしたい。」と意見があり、警察本部から、「県警察では、全国地域安全運動に合わせ、警察官が地元ラジオ局に出演して特殊詐欺の被害防止を呼びかけたり、高齢者を対象とした出前講座に加え、回覧板を活用した啓発活動を行っていくほか、埼玉県警察と連携し、駅構内で犯罪被害等の防止を呼びかけていく予定である。」と回答があった。

エ 「横断歩道における歩行者の安全を確保するための協定」の締結について

警察本部から、「本県における信号機のない横断歩道での車両の停止率は、全国平均より低く、横断歩道上の死亡事故も発生していることから、運転者の「横断歩道の歩行者優先」意識の高揚を図るとともに、横断歩道における交通事故を抑止して歩行者の安全を確保するため、一般社団法人群馬県トラック協会と協定を締結する。」と報告があった。

委員から、「約2万3千台のトラックにステッカーを貼付して啓発することは、非常に良いことであり、県民だけでなく通行車両にも効果があると思う。」、「トラック協会に未加入の会社もあると思うので、自営業者を含め、幅広く浸透させるようお願いしたい。」、「非常に良い取組であり、他の交通関係団体とも連携し、更に対策が広がるようお願いしたい。」と意見があった。

(2) 決裁事項

ア 非違事案による職員の処分予定について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

委員から、「十分気を付けていただきたい。」、「きちんと対応していただきたい。」と意見があった。

また、委員から、「警察署長に就任する際は、教養等を行っているのか。」と質問があり、警察本部から、「非違事案防止については、日頃から教養を実施しているほか、署長会議等においても、ハラスメント防止等について繰り返し指示・指導している。」と回答があった。

イ 群馬県警察の組織及び警察職員の配置定数に関する規則の一部改正について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

ウ 警察職員の職務執行に対する苦情の処理について（2件）

警察本部から、令和3年5月11日及び同年6月9日付けで受理した警察職員の職務執行に対する苦情の処理方針について説明があり、決裁した。

エ 不審者侵入を想定した児童相談所との合同訓練の実施について

警察本部から、「令和3年10月6日、群馬県中央児童相談所において、児童相談所に対する不審者侵入事件の発生を想定して、関係職員の危機管理意識を醸成するとともに、事案発生時における的確な対処を図り、児童の適切な保護等に資することを目的として、児童相談所との合同訓練を実施する。」と説明があり、

決裁した。

委員から、「去年は臨検訓練を視察したが、不審者侵入訓練についても装備資機材の活用等、色々なことを想定しながら実施することが大切だと思う。」「児童相談所にとっても、警察と連携して訓練を進めることは望ましいことだと思う。」と意見があった。

また、委員から、「このような訓練は、いつから実施しているのか。」と質問があり、警察本部から、「今回は初めてである。」と回答があった。

さらに、委員から、「侵入者が刃物を持っている場合もあるので、しっかりとした訓練をお願いしたい。」と意見があり、警察本部から、「110番通報要領のほか、刺股を活用した応急措置等、児童や職員が負傷しないための訓練を実施したい。」と回答があった。

オ 行政処分の意見聴取結果について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案9件の意見聴取結果及び6件の聴聞結果について説明があり、決裁した。